

多年にわたり電波利用環境保護の周知・啓発活動を行うボランティアとして電波教室や各種イベントを積極的に行うなど、香川県内における電波の公平かつ能率的な利用の推進に貢献されました。

「電波適正利用推進員」とは、総務省が不法・違法無線局をなくすための電波監視活動とあいまって、電波環境を改善するために地域に密着した電波の適正利用に関する活動を委嘱された**民間のボランティア**

電波適正利用推進員制度は、平成9年度に創設され、香川県内での活動を拠点とする香川県電波適正利用推進員協議会は平成11年度に設立。平成27年4月現在、**香川県では9名体制（四国内34名）**で、活動を展開



総務省

委嘱



電波適正利用推進員
(民間ボランティア)

活動



電波教室の様子



周知・啓発活動の様子

【最近の主な実績】

- ①電波教室・・・防災型ラジオ、手作りラジオ列車、お宝発見器等の独自教材を企画製作するなど創意工夫し、参加者の学習効果の向上に向けた独自の取組を実施。過去3年間で計467名が受講。
- ②周知・啓発活動・・・香川県内の自治体、学校、公民館、消防署等の公共機関に対し、電波利用環境保護に関する広報媒体を広報誌やHPに掲載してもらうよう調整するとともに、ポスターの掲示を依頼。地区の夏まつり、地区の文化祭、家電フェア及びアマチュア無線講習会等の各種イベントでのリーフレット配付等を行うなど、1カ年度あたりの全国平均72活動を大きく上回る114活動を実施。（過去3カ年度の実績の平均）
- ③混信等相談受付・・・アマチュア無線局の運用や手続等についての対応、テレビ及び防災無線受信機の電波障害の対応。